

R7年度 BLASTAMによるアメダス観測地点におけるもち病感染好適日 6/1～8/1(出典:日本植物防疫協会 JPP-NET)

	沼田	中之条	前橋	桐生	上里見	伊勢崎	西野牧	館林	神流
6/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	●	●	●	●	●	●	-
6/11	●	●	●	●	-	●	-	●	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	●	-	●	-	-	-	-
6/15	-	-	●	●	●	-	-	●	-
6/16	-	-	-	-	●	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	●
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/30									
7/1									
7/2									
7/3									
7/4									
7/5									
7/6									
7/7									
7/8									
7/9									
7/10									
7/11									
7/12									
7/13									
7/14									
7/15									
7/16									
7/17									
7/18									
7/19									
7/20									
7/21									
7/22									
7/23									
7/24									
7/25									
7/26									
7/27									
7/28									
7/29									
7/30									
7/31									
8/1									

●…感染好適日 ▲…準好適条件

※ブラスタム(BLASTAM)とは・・・

気象条件(アメダスデータ)のみによって、葉いもちに感染しやすい日(感染好適日)を予測するシステム。

【ブラスタム(BLASTAM)情報の使用上の注意】

1. 実際のほ場における葉いもちの発生には、気象条件の他にも、菌の多少(密度)、イネの品種による抵抗性や体質、薬剤防除条件などが大きく関与しています。したがって、BLASTAMは、あくまでも葉いもちが発生しやすい気象環境を示すものです。

2. BLASTAMは、葉いもちを対象としています。葉いもちが初発するまでには、イネが移植後、ある生育量に達するまでの一定期間が必要であること等から、BLASTAMの適用期間は、移植後21日目から35日間とされています(6月1日移植の場合、6月21日～7月25日)。ただし、箱施薬が行われたほ場で、薬剤の効果が持続している期間についてはBLASTAMは適用できないので、注意してください。

3. 葉いもちは、菌が侵入してから発病するまで約1週間かかるため、BLASTAMで感染好適条件が現れた場合その約1週間後から初発あるいは病斑数が急激に増加することが予想されます。

4. BLASTAMでの感染好適条件の出現回数が多い場合、葉いもちの発生面積が急増し、発病程度も激しくなることが予想されます。